

30周年のご挨拶

皆様におかれましては、日々ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。この度、有限会社ネットワーク調剤は令和4年3月3日に創業30周年を迎えました。平成四年に先代小野寺敏がオノデラ百貨店を閉業し、福島市笹谷にてアップル薬局一号店を開業以来、皆様のご支援のおかげをもちまして現在は福島県内3市にわたって薬局、介護、飲食事業等展開するに至りました。

近年におきましては東日本大震災、水害、新興感染症など様々な災害に直面し、私どもネットワーク調剤におきましても試練の時期が続きました。しかしながらこの新時代においても「だれもが支え、支えられる地域をつくる」企業理念のもと、地域の皆様にとって真にお役に立てる医療・介護・福祉とは何か？問いかけを怠ることなく社員一同40周年、50周年に向け精進して参る所存です。

過去には小売店の大型郊外化により町に活気や繋がりが失われ多くの問題が生じました。今またインターネットによる利便性のみの顔の見えない流通により、取引の信頼が揺らぎ様々な業種において地域の小売に回帰している事案が生じております。このような昨今であるからこそ、弊社はヘルスケアの一丁目一番地である薬局・介護事業者として、その存在価値を社会に対し明確に伝えるときであると感じております。

引き続き地域包括ケアシステムを軸とした多職種連携の強みを生かし、持続可能な支え合いのまちづくりの実現のため、私たちネットワーク調剤は皆様とともに地域に根差した活動を継続して参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど、
お願い申し上げます。

令和4年3月3日
有限会社ネットワーク調剤
代表取締役社長 小野寺大樹

